



10月になりました。今年は夏の暑さが雨交じりだったこともあり、秋を飛び越し冬になる印象もあります。

総院長のひとりごと

さて、今月からはインフルエンザの予防接種が始まります。毎年のことなのでそれぞれにご意見をお持ちと思います。本当に医学的に正しい解釈とはどんなものでしょう。以下に箇条書きします。インフルエンザについて確定的に言えることは意外に多くはありません。

1. その年インフルエンザに罹る可能性を、少なくとも半分程度までには下げる
2. インフルエンザに罹った場合、高熱が出たり入院したりする可能性を下げる
3. インフルエンザに罹った場合、その死亡率を確実に下げる

(尚、これらの効果は高齢者・乳幼児・老人ホーム入居者・心筋梗塞のある人・糖尿病の人により強く期待できます)

これらの感想は人それぞれだと思います。ただし、少なくとも社会全体から見るとインフルエンザの予防接種がメリットを持つことは明らかです。確かに大変不幸な副作用事故はあります。そして、それを根絶することは不可能だと思います。ですから慎重に接種を勧めることが大切だと思います。

無理なくお過ごし下さい。

総院長 拝



学生時代は衣替えて、暑いのに冬服?と文句を言っていた10月です。今は11月まで移行期間で冬と夏の制服が混在している月でもあります。

師長のつぶやき

まだまだ暑い日がありますが、インフルエンザの予防接種の季節でもあります。毎年聞かれますが、効果は3~5ヶ月です。受験生は早めの接種が推奨されているようですが、早く打ちすぎると来年の3月には効果が切れてしまうかもしれません。

接種時期についてはぜひ、スタッフに相談してください。

(インフルエンザの予防接種は、早めに接種をお勧めする方と、11月まで待ってから接種した方がいい方がいらっしゃいます。)



看護師Sのひとこと

毎日ミンミン鳴っていた蝉に代わって、鈴虫が存在感を出してきましたね。涼しくなってきた季節の変わり目、体調を崩さぬよう気を付けたいものです。

今年の夏は学会にいくつか参加してきました。糖尿病の薬に関する学会では、ねずみ(マウス)の実験方法について聞き、ねずみさんかわいそう...と衝撃を受けてきました。複雑な気持ちになってしまい、薬の開発の裏側を垣間見たような気がしました。

ドラッグストアで買える薬も、医師が処方する薬も大事にしたいなと思います。ご自宅にある薬の期限、切れたりしていませんか?私も今度一斉にチェックをしたいと思います。



臨床検査技師Tの検査紹介

こんにちは。最近眼科に行かれましたか?

10月は眼底検査についてご紹介します。

眼底検査とは眼底カメラで眼底の様子を観察する検査です。糖尿病網膜症があるのか、どのくらい症状が進行しているのかを検査することができます。



眼底検査には2つの方法があります。

- ①無散瞳眼底検査：散瞳せずに検査する方法
- ②散瞳眼底検査：散瞳薬という目薬を使用して検査する方法

当院では無散瞳眼底カメラによる検査を実施しています。合併症予防のためには定期的に検査をすることが大切です。検査をご希望の方はスタッフまでお声をおかけ下さい。

